

平安時代【入門編】

①みるだけ平安時代（794～1185年）

平安時代初期の政治と外交

- 794年、¹桓武天皇が²平安京に都を移す
- ³坂上田村麻呂：征夷大將軍⇒蝦夷と戦う
- ⁴遣唐使の停止：894年、⁵菅原道真の提案

藤原氏の台頭

- ⁶藤原氏は⁷摂関政治を展開
- 全盛期：⁸藤原道長・⁹藤原頼通のとき

新しい仏教：9世紀初め

- ¹⁰天台宗：¹¹最澄が開いた
- ¹²真言宗：¹³空海が開いた

武士の登場と反乱：10世紀前半

- ¹⁴平将門の乱：関東地方
- ¹⁵藤原純友の乱：瀬戸内海周辺

¹⁶院政の開始

- 1086年、¹⁷白河上皇が開始

武士の台頭

- ¹⁸保元の乱・¹⁹平治の乱
→平氏の台頭、平氏政権
- 1167年、²⁰平清盛が太政大臣になる

源平の争乱

- 1185年、²¹壇ノ浦の戦いで平氏がほろぶ
※ ²²源義経の活躍

²³国風文化

- ²⁴仮名文字：漢字を变形
- ²⁵古今和歌集：²⁶紀貫之らが編さん
- ²⁷源氏物語：²⁸紫式部の小説
- ²⁹枕草子：³⁰清少納言の随筆
- ³¹寝殿造：貴族の家の建築様式
- ³²平等院鳳凰堂：³³藤原頼通が建立

②よむだけ平安時代

平安時代初期の政治と外交、新しい仏教

- ・794年に¹桓武天皇が²平安京に都を移してから、鎌倉幕府が開かれるまでの約400年間を平安時代といいます。
- ・平安時代の初めには、征夷大將軍に任命された³坂上田村麻呂が蝦夷と戦ったり、⁴最澄が始めた⁵天台宗、⁶空海が始めた⁷真言宗などの新しい仏教も広まったりしました。
- ・外交では、894年に⁸菅原道真の提案により⁹遣唐使が停止されました。

藤原氏の台頭

- ・平安時代の前半には、¹⁰藤原氏が勢力をのばしました。藤原氏は、娘を天皇と結婚させ、生まれた男子を次の天皇に立てると、自身は摂政・関白として実権をにぎりました。このような政治を¹¹摂関政治といいます。藤原氏の摂関政治は、11世紀前半～半ばの¹²藤原道長・¹³藤原頼通のときに全盛期を迎えました。

国風文化

- ・漢字を変形させた¹⁴仮名文字が作られると、多くの文学作品が生み出されました。¹⁵紀貫之らがまとめた歌集の「¹⁶古今和歌集」や、¹⁷紫式部の小説「¹⁸源氏物語」、¹⁹清少納言の随筆「²⁰枕草子」などがあります。
- ・建築では、貴族の家の建築様式として²¹寝殿造が広まりました。また、²²藤原頼通が²³平等院鳳凰堂を建立しました。

武士の登場と反乱

- ・9～10世紀には武士が出現して勢力を拡大し、反乱を起こす武士もいました。10世紀前半には²⁴平将門の乱が関東地方で、²⁵藤原純友の乱が瀬戸内海周辺で反乱を起こしました。朝廷はこれらの反乱を、同じ武士の力を借りてしずめました。

院政の開始

- ・11世紀後半、白河天皇は自分の子どもに天皇の位をゆずって²⁶上皇(白河上皇)となり、その後も政治の実権をにぎりました。上皇が行う政治を²⁷院政といいます。こうして藤原氏の勢力は後退していきました。

武士の台頭、平氏政権

- ・12世紀半ばには、都で2つの内乱(²⁸保元の乱、²⁹平治の乱)が起こりました。この2つの戦いに勝利した³⁰平清盛が政治の実権をにぎり、1167年に武士として初めて³¹太政大臣になりました。

源平の争乱

- ・平氏に対して伊豆の³²源頼朝らが拳兵し、源平の争乱が起こりました。頼朝の弟の³³源義経らの活躍により、1185年の³⁴壇ノ浦の戦いを最後に平氏は滅亡しました。

平安時代【入門編・演習】

①みるだけ平安時代（794～1185年）

平安時代初期の政治と外交

- 794年、¹ _____ が ² _____ に都を移す
- ³ _____ : 征夷大將軍⇒蝦夷と戦う
- ⁴ _____ の停止 : 894年、⁵ _____ の提案

藤原氏の台頭

- ⁶ _____ 氏は ⁷ _____ を展開
- 全盛期 : ⁸ _____ ・ ⁹ _____ のとき

新しい仏教 : 9世紀初め

- ¹⁰ _____ : ¹¹ _____ が開いた
- ¹² _____ : ¹³ _____ が開いた

武士の登場と反乱 : 10世紀前半

- ¹⁴ _____ の乱 : 関東地方
- ¹⁵ _____ の乱 : 瀬戸内海周辺

¹⁶ _____ の開始

- 1086年、¹⁷ _____ が開始

武士の台頭

- ¹⁸ _____ ・ ¹⁹ _____
→平氏の台頭、平氏政権
- 1167年、²⁰ _____ が太政大臣になる

源平の争乱

- 1185年、²¹ _____ で平氏がほろぶ
- ※ ²² _____ の活躍

²³ _____

- ²⁴ _____ : 漢字を变形
- ²⁵ _____ : ²⁶ _____ らが編さん
- ²⁷ _____ : ²⁸ _____ の小説
- ²⁹ _____ : ³⁰ _____ の随筆
- ³¹ _____ : 貴族の家の建築様式
- ³² _____ : ³³ _____ が建立

②よむだけ平安時代

平安時代初期の政治と外交、新しい仏教

- ・794年に¹_____が²_____に都を移してから、鎌倉幕府が開かれるまでの約400年間を平安時代といいます。
- ・平安時代の初めには、征夷大將軍に任命された³_____が蝦夷と戦ったり、⁴_____が始めた⁵_____、⁶_____が始めた⁷_____などの新しい仏教も広まったりしました。
- ・外交では、894年に⁸_____の提案により⁹_____が停止されました。

藤原氏の台頭

- ・平安時代の前半には、¹⁰_____氏が勢力をのばしました。藤原氏は、娘を天皇と結婚させ、生まれた男子を次の天皇に立てると、自身は摂政・関白として実権をにぎりました。このような政治を¹¹_____といいます。藤原氏の摂関政治は、11世紀前半～半ばの¹²_____・¹³_____のときに全盛期を迎えました。

国風文化

- ・漢字を変形させた¹⁴_____が作られると、多くの文学作品が生み出されました。¹⁵_____らがまとめた歌集の「¹⁶_____」や、¹⁷_____の小説「¹⁸_____」、¹⁹_____の随筆「²⁰_____」などがあります。
- ・建築では、貴族の家の建築様式として²¹_____が広まりました。また、²²_____が²³_____を建立しました。

武士の登場と反乱

- ・9～10世紀には武士が出現して勢力を拡大し、反乱を起こす武士もいました。10世紀前半には²⁴_____の乱が関東地方で、²⁵_____の乱が瀬戸内海周辺で反乱を起こしました。朝廷はこれらの反乱を、同じ武士の力を借りてしずめました。

院政の開始

- ・11世紀後半、白河天皇は自分の子どもに天皇の位をゆずって²⁶_____（_____）となり、その後も政治の実権をにぎりました。上皇が行う政治を²⁷_____といいます。こうして藤原氏の勢力は後退していきました。

武士の台頭、平氏政権

- ・12世紀半ばには、都で2つの内乱（²⁸_____、²⁹_____）が起こりました。この2つの戦いに勝利した³⁰_____が政治の実権をにぎり、1167年に武士として初めて³¹_____になりました。

源平の争乱

- ・平氏に対して伊豆の³²_____らが拳兵し、源平の争乱が起こりました。頼朝の弟の³³_____らの活躍により、1185年の³⁴_____を最後に平氏は滅亡しました。